

2019年4月2日

プレゼントツリー神武の森へご支援頂いている皆様



西諸地区森林組合  
代表理事組合長 平 奈緒美

謹啓 日頃は私共の森づくりに対し格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、2009年3月24日にスタートした「Present Tree in 南九州高原町（宮崎県西諸県郡高原町蒲牟田）」（通称：プレゼントツリー神武の森）は、お陰様をもちまして当年3月23日をもちまして、プレゼントツリーの里親の皆様との10年間の約束期間満了を迎えました。

その間、2011年1月27日には52年ぶりの新燃岳爆発的噴火※1という未曾有の災害に見舞われ、その神武の森への影響と被害状況、ならびに対応措置については、環境リレーションズ研究所を通じて [2013年12月1日付けでご報告](#) させて頂いた通りであり、宮崎県環境森林部により全損認定を受けた後、2014年4月にはすべての補植を行い、プレゼントツリーとしてのナンバープレート装着を完了いたしました。

しかし、その後も継続的に噴火が頻発しており、2018年3月9日にはまたもや爆発的噴火が発生※2、大量の降灰が堆積して土壌汚染とガスの滞留が影響し、相当数の植栽木が再枯損してしまいました。打開策については、樹木医や県の林業総合センターと共に検討して参りましたが、これと言った手立てもなく現在に至っているところです。

また、新燃岳の活動については、現在も周期的に小規模な噴火が発生しており、降灰被害が続いております。

つきましては、大変不本意ながらも、これ以上当地に再植栽をしたとしても成果が得られる見込がないと判断し、また新燃岳噴火の継続的リスクを鑑みて、協定期間満了のこのタイミングで本プロジェクトを終了させて頂きたく存じます。予定では、協定期間満了の後も皆様の大切な記念樹の保全に努め、皆様に見に来て頂けるよう管理していくつもりでしたが、このような状況によりそれが叶わなくなったことについてご了承いただければ幸いです。

残っている苗木については、今後も木の生育にかかる降灰影響を知る上での有用な情報源となりますので、引き続き見守って参ります。

高原町におけるプレゼントツリーは、2012年よりスタートしている「新燃岳噴火災害復興祈念の森（広原尾野地区）」については、噴火の影響が軽微であり、皆様からお預かりしている苗木

もスクスクと育っておりますので、是非見にいらしてください。

長きに亘り神武の森を育てて頂きましたことへの御礼を申し上げますと共に、引き続き、高原町並びにプレゼントツリーの森を末永く見守って頂けますよう、お願い申し上げます。

敬 白

※1. 2011年1月27日：霧島山（新燃岳）の爆発的噴火の状況（大浪池の監視カメラによる）



15時41分に中規模の爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上2,500mまで上がり雲に入りました。

（出典：福岡管区気象台 火山監視・情報センター 鹿児島地方気象台）

※2. 2018年3月9日：霧島山（新燃岳）の爆発的噴火の状況（新湯展望台より）



15時58分の噴火では噴煙が火口上空3,200mに達した。

（出典：地質調査総合センター「霧島山新燃岳2018年噴火に関する調査結果」[2018年3月]）

以 上